

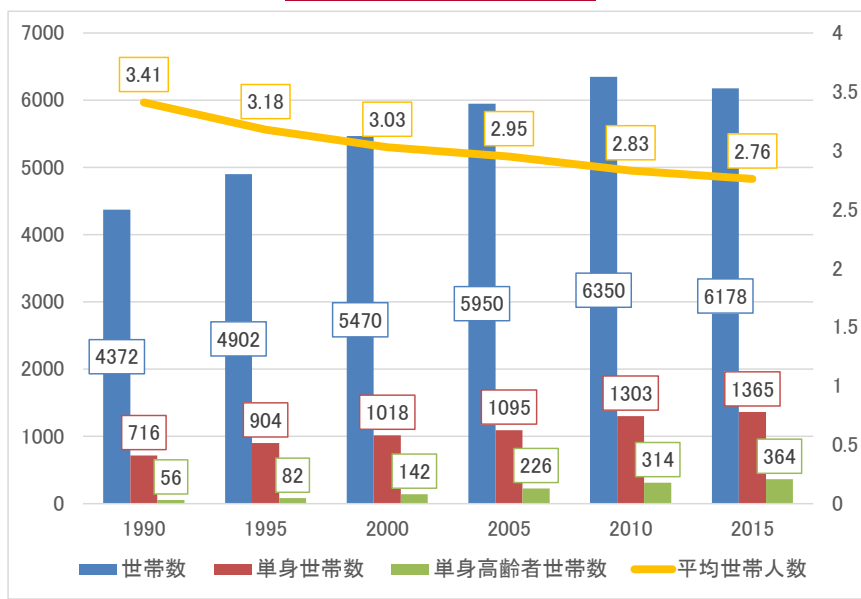
大井町人口ビジョン改訂（案）修正箇所

④ 世帯構成の推移

大井町の世帯数は 2010 年まで増加し、2015 年は減少に転じています。反対に平均世帯人数は年々減少傾向にあり、核家族化や少子化、単身世帯の増加が進んでいます。

また、単身世帯が全世帯に占める割合は、1990 年は 16.37%でしたが、2015 年は 22.09%に増加しています。

図表 4 大井町の世帯構成の推移



出典：国勢調査

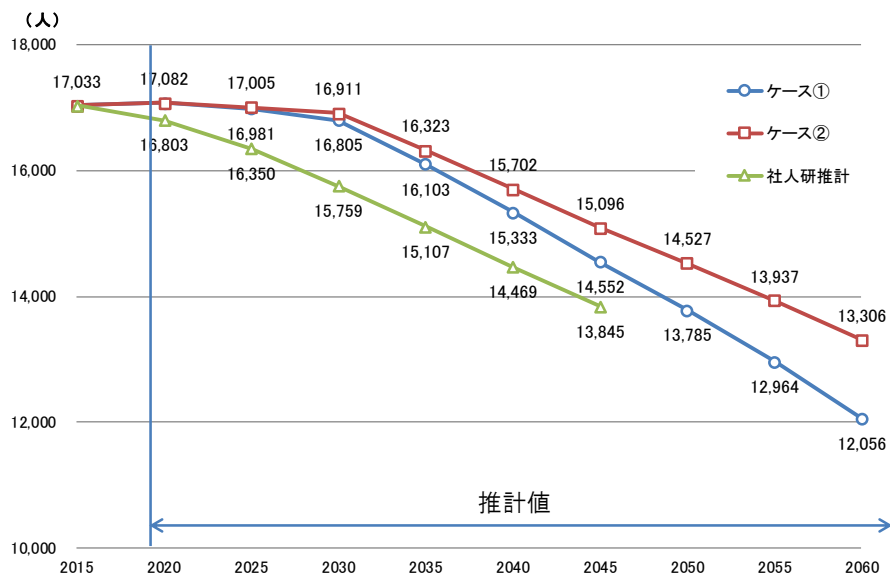
(2) 将来人口の推計結果について

2060年までについて、以下の3通りの条件の下で人口推計を行った。

- ケース①：現在の人口動態が2030年まで継続し、2031年以降は人口移動がなくなるものとして純移動率を0とした場合
- ケース②：ケース①の条件に出生率が回復するとした場合
 (2015年～2017年の3カ年の平均出生率1.22が、2060年に国及び県の長期ビジョンで示された出生率2.07を線型的に達成すると仮定した場合)
- 社人研推計：国立社会保障・人口問題研究所(以下「社人研」という)が、2015年の国勢調査を基に推計した、2045年までの男女年齢(5歳)階級別の将来人口。

- 削除：仮定条件①
- 削除：に
- 削除：増加と
- 削除：。

図表 21-1 将来人口推計による総人口の推移



図表 21-2 将来人口推計による年次別総人口の推移

	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年	2060年
ケース①	17,033	17,082	16,981	16,805	16,103	15,333	14,552	13,785	12,964	12,056
ケース②	17,033	17,082	17,005	16,911	16,323	15,702	15,096	14,527	13,937	13,306
社人研推計	17,033	16,803	16,350	15,759	15,107	14,469	13,845			

※ ケース①及び②の総人口には、年齢不詳人口34名を含む